

## いわき湯本病院 小峠 恒男(科長/検査科)

**功 績** 感染委員会のメンバーである被推薦者は、外来、病棟など院内で毎日始業前に行われる機材、器具の清拭作業の効率化の一環として、従来、個別に多種の洗浄剤を使用していた状況改善策を提案した。洗浄剤を広範囲スペクトラムなもの1種とし、管理を一括して行う提案であり、委員会で採用、管理は提案者の検査科で一元的に行って進めてくれた。その結果、2017年度の環境除菌・洗浄剤関連経費は対前年比で約42%の節減に成功し病院運営に大きく貢献した功績。

**推 薦 者** 布施 由美(看護部長)

**推 薦 理 由** 日頃外来、入院等の感染症検査、防止対策には最前線にある検査科ならではの提案ともいえるが、現場をよく知る立場からの業務効率化と有用性を見直しの提案で、病院の業務に大変大きく貢献することになった。この改善案を、提案し、自ら実践し続けている小峠科長の日々の業務態度を、是非とも理事長賞として推薦したい。

### 内 容

---

感染症の院内アウトブレイクを抑制することは院内感染コントロールの最重要課題であり、外来、病棟などでは、毎朝始業に先立って環境除菌・洗浄剤により清拭を丹念に行うのが必須業務である。これに用いる除菌洗浄剤には清拭用クロスタイプのもの、スプレー式のものなどがあり、更には薬剤の種類も目的により多種多様である。当院では、従来はそれぞれの部署で目的に応じ個別に除菌洗浄剤を購入し使用してきた。

2017年4月、感染委員会で小峠検査科長から抗菌スペクトラムが広い、環境整備に大変有用な洗浄剤があるとの情報がもたらされた。この薬剤(ルビスタ® 杏林)は安定した効果を得るために院内で一週ごとに所定量調整して使用する方式で、一般細菌のみならずウイルスから細菌芽胞、結核菌、真菌などに広く有効とされ、しかも自家調整水溶液であることから、清拭クロスタイプ、スプレータイプと用途により多様な方式で使用ができるなど、使いやすさも特徴とされる。

検討の結果、価格は多少高いが、一括管理ができることから、従来の多種類の洗浄剤をこの新洗浄剤に統一変更することとなった。加えて、小峠科長からは、調整と管理を検査科で行うとの提案があり、在庫品終了次第、一斉に切り替えることにした。

以来、検査科で毎週ルビスタ® 水溶液を調製し、院内に必要分を供給する作業を続けた。

これらの変更の結果、年度末集計では購入経費を対前年比で約42%節減することができた。また、環境除菌洗剤の変更等に伴って、インフルエンザ、ノロウイルス感染などの院内アウトブレイク防止が問題になるような事態も懸念されはしたが、近隣地域病院の多くで病棟閉鎖が行われた今シーズンも当院ではアウトブレイクを見ることもなく問題なく経過することができた。